

船舶事故等調査報告書

平成22年9月30日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第85号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年4月5日 23時30分ごろ	
発生場所	関門港長府区 山口県下関市長府宮崎第2防波堤灯台から真方位028° 2,300m付近 (概位 北緯34°00.8′ 東経131°00.5′)	
事故等調査の経過	平成22年6月3日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 ^{みやよし} 宮吉丸、196トン	
船舶番号、船舶所有者等	132505、宮下汽船株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	プロペラ先端部折損	
事故等の経過	本船は、船長ほか3人が乗り組み、約1ノットの速力で手動操舵により、関門港長府区において着岸作業中、平成22年4月5日23時30分ごろ、陸岸近くの捨石にプロペラ先端部が接触した。 本船は、そのまま自力で着岸した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 2、視界 良好 海象：波なし、潮汐 上げ潮の末期	
その他の事項	喫水 船首約1.4m、船尾約2.9m 水深 約1.3～5.0m	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、関門港長府区において着岸作業中、左舷着けするため、右に大きく回り過ぎたことから、陸岸近くの捨石に接近したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、関門港長府区において着岸作業中、右に大きく回り過ぎたため、プロペラが陸岸近くの捨石に接触したことにより発生したものと考えられる。	